

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 副腎腫瘍術後アウトカム

[研究機関] 北海道大学病院 泌尿器科

[研究責任者] 丸山 覚（北海道大学病院 泌尿器科・助教）

[研究の目的]

機能性副腎腫瘍は、血圧を上昇させたり、血糖値を上げるホルモンを分泌しており、手術によって摘出すると、高血圧や耐糖能異常などの症状が良くなる場合が多く、一般的には手術することを勧めます。しかし非機能性副腎腫瘍では、これらの症状が良くなるかどうかは不明です。そのため、今回、非機能性副腎腫瘍の手術後に、高血圧や耐糖能異常などの症状が改善されるかどうかを確認し、内分泌機能からみた手術治療の意義について検討します。また機能性副腎腫瘍についても、高血圧や耐糖能異常がどのくらい改善されたのかを評価します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1997年2月から2009年3月までの間に北海道大学病院泌尿器科で非機能性副腎腫瘍と診断され、副腎摘除術を行った方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、合併症、臨床検査データ、CT画像、シンチグラフィ画像、病理組織を含む手術関連情報。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院泌尿器科 担当医師 丸山 覚

電話 011-716-1161 FAX : 011-706-7853